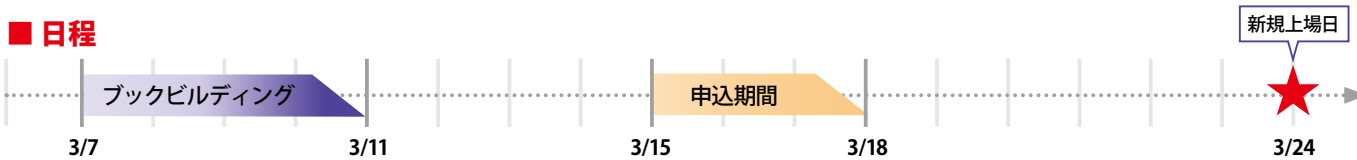


IPO銘柄 ウイルプラスホールディングス (3538・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3538	100株	公募: 40.01万株 売出: 12.40万株 (OA7.86万株)	1,730円~1,880円 (8.4倍)	みずほ証券

■ 日程



福岡県および首都圏で輸入車販売事業を手掛ける

■ 事業内容

福岡県、東京都、神奈川県で、輸入車販売事業を手掛ける。新車販売のほか、中古車の買取・販売や、車両整備、損害保険の代理店事業も行う。傘下にチェッカーモーターズ、ウイルプラスモーターズ、帝欧オートがあり、それぞれ別ブランドを取り扱っている。チェッカーモーターズはクライスラー/ジープブランド、フィアット/アルファロメオブランドにおいてトップクラスのシェア、アバルトブランドにおいては世界有数の販売実績を持つ。ウイルプラスモーターズはBMW、MINIの正規ディーラーで、東京、福岡で8拠点を出店している。また、帝欧オートは創業60年を超える老舗ボルボディーラーで、福岡に5拠点を展開する。福岡でのボルボ販売を独占し、何度もエクセレンス・アワードを受賞した実績がある。輸入自動車販売関連事業の単一業態。

■ 特徴

チェッカーモーターズは東京、神奈川、福岡で14拠点を展開中。クライスラー/ジープブランドなどのほか、FCAジャパン社の取り扱う5ブランドの合計販売台数では圧倒的なナンバーワンを誇る。各ブランドでトップシェアを目指し、プライスリーダーになることを目指している。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年6月期の連結経常利益は前期比14.9%増の7億7,300万円を予想する。フォルクスワーゲンによるディーゼル車の排ガス不正問題を背景にブランドイメージが悪化したものの、同ブランドの取り扱い比率自体が低い上に、その他ブランドのニューモデル投入効果などでカバーしている。

■ 定性分析

輸入車販売業者は目新しいビジネスモデルではなく、消費者の車離れが叫ばれる中で高成長イメージも乏しい。IPOマーケットでは特段の人気業種ではない。ただ、輸入車の中でもニッチで特定の需要のある車種を手掛けていることから、業績面には安定感がありそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は11億円程度。ベンチャーキャピタル保有株も存在し、需給面に特段の妙味はない。初値買いを集めるタイプの案件ではなく、大きな初値のプレは出なそう。3月24日はベネフィットジャパンと同日上場予定で、資金分散懸念も。
(小泉健太)

■ 類似企業

ウイルプラスホールディングス (3538・JASDAQ)	予想PER8.4倍 (仮条件上限)
ICDA ホールディングス (3184・東証2部)	予想PER5.8倍
VT ホールディングス (7593・東証1部)	予想PER16.4倍

■ 引受証券

みずほ証券、SBI証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、いちよし証券、岡三証券、SMBCフレンド証券、マネックス証券、岩井コスモ証券、むさし証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年6月期(実績)	17,146	—	870	—	500	—	284.5	—
15年6月期(実績)	19,072	11.2	673	▲22.6	416	▲16.8	226.0	—
16年6月期(会社予想)	20,176	5.8	773	14.9	450	8.2	223.7	28.0

※ 14年6月期より連結決算。15年12月に株式分割(1株→20株)を実施。14年6月期、15年6月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年6月期	115,872	6,969	1,787	155	1,013.5	25.7	32.6
15年6月期	119,136	6,954	2,335	168	1,226.6	33.6	20.2

※ 14年6月期および15年6月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	成瀬 隆章	1,114,320	43.36
2	ウイルプラスホールディングス	478,740	18.63
3	ゼロ	143,400	5.58
4	みずほキャピタル第3号投資事業 有限責任組合	142,840	5.56
4	三菱UFJキャピタル3号投資事業有限 責任組合	142,840	5.56
6	三井住友海上火災保険	121,680	4.73
7	齊田 勇	85,660	3.33
8	りそなキャピタル2号投資事業組合	71,420	2.78
9	損害保険ジャパン日本興亜	66,660	2.59
10	柴田 学爾	52,660	2.05

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	成瀬 隆章
常務取締役 管理本部長	柴田 学爾
取締役	齊田 勇
取締役	廣田 聡
監査役(常勤)	野田 光治
監査役	岩淵 信夫
監査役	宮島 涉

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会